

8月26日

朝一番の飛行機に乗るため5時30分に出発。成田に近づくと、もう心はI love Japan。税関を抜けると、家族や先生方が暖かく迎えてくれて、お母さんに「あづさ、お帰り」と言われた時は、すごく嬉しかったです。国外へ出て、家族がどれほど大事なものなのかがわかりました。こんなすばらしい体験ができて感動！ニュージーランドに行ったら本当に良かったと思いました。



8月25日

ホームステイ最後の朝。お父さんがバイクで、ティアナウの街を1周してくれました。朝の湖や町はとてもキレイでした。そして最後のお別れ。第2の家族としてとても優しくしてくれたことを思い出すと、バスに乗ってからも涙が止まりませんでした。と同時に、日本の家族にとっても会いたくなりました。飛行機で南島から北島のオークランドに移動。夕食は中華でしたが、日本食が恋しくなりました。思えば今日は、お土産を買うにも、考えるのは日本の家族のことばかりでした。



景色がそっくり映るミラーレイク

8月22日

7時45分起床。朝食はチョコとバタークリームを塗ったトースト。学校に着くと、すぐバスに乗り込みイベントホールでハンギの下ごしらえ。その後、自然公園に行ったり、映画を観たり。お昼は悠とすみれと一緒に土産を購入。「Sorry I'm late」で教室へ。マオリ人のデリーさんがセレモニーの説明をしてくれました。男性がハンギを掘り出すところは勇者みたいでワイルド！パパたちが「Hey! ADUSA」と声を掛けてくれて、何気ない会話がすごいHappy♡でした。セレモニーでは、マオリの人々の歌声がきれいで、ハカも大迫力!! 最初は恥ずかしかったハンギというあいさつも、やってみると親しみ深くなった気分。歌声を聴きながら食べたハンギはおいしかった。家に帰ってからデザート。ママに「太っちゃうね」とジェスチャーされた。今日は超→HAPPY DAY



8月23日



学校に着いたらすぐ、バスに乗り牧場へ。そこでは、牧羊犬と羊さんのショータイムです。犬は口笛によって左右を聞き分け、羊を追うように移動させます。そして、メインの羊の毛刈り。普通にバリカンでガーッと!! かみそり負けが痛そう。毛糸を紡ぐ機械は、足と手を使って大変そうでした。

そして、ジェットボート。風は強く辛かったけど、本当に楽しい!! スピンが最高!! ボートから降りてもずっとフラフラでした。夕方は船に乗って、洞くつの中にある土ポタルの見学へ。チケットは再利用するらしく、回収されました。土ポタルは星みたいにキレイだった。外に出ると南十字星がくっきりはっきりbeautiful!! 日本の家族にも見せてあげたかったなあ。



8月24日

学校では、授業を受けている人がいるのに、バスケットを楽しんでいる人も…。空き時間があるのかな? 教室の掲示物には「日本人は顔が平らで目が細い」って!! でもいいこともたくさん書いてありました。

10時にバスでミルフォードへ。途中立ち寄った国立公園ではトイレを使うのに寄付が必要で、私は1ドルコインと日本の10円玉を入れました。そして、いよいよ世界遺産のミルフォードサウンド。サウンドは入り江という意味ですが、本当はフィヨルドという氷河のこと。広大な自然の中では、自分がちっぽけに感じられました。ティアナウへ戻り、さよならパーティー。夕食は持ち寄りで、歌を歌ったり、ご飯を食べたり。家に帰って家族と記念撮影。最後のgood nightをして寝ました。



Presentation 報告会



多古中学校で10月12日に開かれた校内報告会では、派遣団員が、スライドショーやパネルディスカッションで、交流体験や食文化の違い、現地の学校・生徒の印象などを発表しました。また団員は、国際交流に当たり、言葉の壁による不安で第一歩を踏み出すことをためらわないよう、他の生徒を激励。最後に高橋校長が「世界はひとつになっていかなければならない。この報告会で得た知識を一人ひとりが積極的に実践し、心を分かち合う国際交流を進めて欲しい」と、締めくくりました。



1・2年生へのメッセージ



かとう ゆかり
加藤友香里さん
(柏熊)

報告会では2人の団員から、1・2年生に対するメッセージも発表されました。「ニュージーランドの壮大な自然には驚き、感動。インターネットや雑誌でその美しさは知っていましたが、自分の目で見てみると写真とは比べものにならないほどキレイでした。多古町とはまた違った美しさを見て、たくさんの種類の動物と触れ合うこともできました」と加藤さん。伊藤さんは「ホームステイ先の方々がとても親切で感動しました。日本語・英語をお互いに教え合うことも一。

住所やメールアドレスを交換したので、ときどき連絡を取っています。将来はまたニュージーランドへ行って、ホームステイ先の皆さんに会ってみたいです」と続けました。さらに「英語や外国に興味がある人は、機会があったら国際交流海外派遣事業に、ぜひ参加してみてください。英語は実力ではなく、気持ちを込めて伝えるもの。日本にいた自分よりも成長して帰ってくるはずですよ」と、自らの体験で得た自信が裏付けする、力強い言葉を先輩へ伝えました。



いとう ちよこ
伊藤千通さん
(南玉造・宿)

食べ物

● 果物や魚がおいしい。お菓子はとても甘く、すべて味が濃い! スケールも大きく、食パンは8枚切りでも日本の6枚切りぐらいのボリュームで、2倍ぐらいの量が入っている。

マヌカハチミツ

● マヌカの木から取れるハチミツは濃厚。のどの痛みなどが治る。紅茶に入れたり、パンに塗ったりして食べると美味。



ランチボックス

● 給食はないので、ランチボックスに詰めたお弁当を持っていく。サンドウィッチやお菓子、果物を持っていくが、日本のお弁当に比べるとシンプル。

あんどう あさみ
安藤麻美さん
(飯新)



あんどう あさみ
安藤麻美さん
(飯新)

Just a bit of NZ Report

あんなこと こんなこと

学校

● 校庭が多古中の2倍くらいあり(テニスコート・ネットボールコート各2面、バスケットボールコート3面)、スクールバスや家族の車で送迎される人が多い。全校生徒数は多古中の1学年くらいで、学校指定の制服がある。



マオリ族

● **ホンギ**=あいさつ：鼻と鼻をつけてあいさつする。その後マオリ族から口上を始め、終わるごとに1曲歌う。マオリ族の代表が話し終わると、今度はこちらの番。口上は男性しかできない。全員が終わったらまた鼻と鼻であいさつして終わる。
● **ハンギ**=伝統的な料理：地面に穴を掘り、その中に熱した線路のレールを入れる。野菜や肉をアルミはくで包み、かごに入れ、ぬれた布巾をかけて土をかぶせ、火をつけ5~6時間蒸し焼きにする。